

# 令和7年度豊橋商工会議所 事業報告書【概要版】

## 1. 政策・制度に関する 提言・要望活動

- ① 日本商工会議所総会・常議員会、各種委員会及び愛知県商工会議所連合会の諸会議に出席し、**税制改正や最低賃金、社会保障制度**などに関する全国的な要望のとりまとめや、広域的な意見の具申等を行った。
- ② 東三河の商工会議所・商工会を構成員とする「**東三河広域経済連合会**」の全体会議を3回開催し、社会資本整備や広域観光振興など、**広域的な諸課題について協議**するとともに、関係自治体などと一体となり**設楽ダム建設事業促進に関する要望活動**を行った。
- ③ 業種業界の意見を集約し、激変する経営環境の影響克服への対応や中小企業施策、商工業関連施策、社会基盤整備等に関する**予算確保要望**、及び社会資本整備やまちづくりを中心とする**地域振興にかかる緊急要望**を豊橋市長に対して行ったほか、**愛知県東三河県庁や豊橋市議会**との各種会議を開催し、課題共有や事業活動協力のための意見交換を行った。



東三河県庁との意見交換  
(R8/1/29)



市議会との意見交換  
(R8/2/2)

## 2. 会員サービスの充実と 組織・財政・運営基盤の強化

### (1) 組織強化と財政基盤の確立

- ① 年度末時点の総会員数は、5,210（**会員 5,032**、会員でない特定商工業者 178）で、組織率は40.0%となった。
- ② 商工会議所ビルの**貸会議室・ホールの利用促進、テナント事業**を展開した。貸会議室・ホール計19室の利用は、年間6,673回であった。
- ③ 会員企業の福祉向上と特約施設の利用促進に努めるため、**各種共済制度の充実・推進**を図った。主な共済制度加入者数は、生命共済763社・2,527名、特定

退職金共済 340社・2,349名、個人向け保険商品は、1,264社・1,867名であった。

- ④ 企業の賠償責任リスク、事業休業、財産・工事に関わる保障を総合的にサポートする**ビジネス総合保険**や**労災対応型商品**として**業務災害補償プラン**をはじめとした**集団扱い損害保険制度の加入促進**を図った。
- ⑤ **労働保険事務組合への加入促進**に努め、事務組合加入者は309事業所となった。

### (2) 会員サービス事業の実施

- ① **海外展開支援室**を通じ、JETRO 名古屋と連携した各種セミナーの開催、販路拡大メニュー等の情報発信・参加勧奨、個別事業所への取引先照会などのほか、青年部が実施した「Global Summit Toyohashi」や「アフリカ開発会議（TICAD）訪問」に協力し、**海外市場に向けた販路開拓や取引拡大**の支援を行った。
- ② 会員相互の交流・親睦を通じ、業種・業界を越えたネットワーク構築や販路拡大など、ビジネスチャンス創出の機会とする「**会員ビジネス交流会**」を開催し、26事業所・37名が参加した。
- ③ 販路拡大支援事業として、**会報誌へのチラシ同封サービス**を実施し、年間155件の利用があった。
- ④ **貿易関連諸証明**として、原産地証明694件、インボイス証明5件、サイン証明269件を行ったほか、貿易登録や証明書の発給申請、特恵原産地証明などに関する問い合わせに対応した。



TICAD 訪問  
(R7/8/20)



会員ビジネス交流会  
(R7/11/11)

### (3) 広報活動・調査事業の実施

- ① **広報誌やメールマガジン、HP、SNS**を活用し、会員や関係機関、市民に広く当所事業を紹介するほか、経営支援制度など有益な情報の提供に努めた。
- ② 広く当所の諸活動をPRするため、**定例記者会見**等を7回開催したほか、報道機関向けの情報提供として、289件の**プレスリリース**を行った。

- ③ LOBO 調査、中小企業景況調査、景気動向調査、大型店販売動向調査等の調査を行い、**地域経済の現況把握と情報提供**を行った。

### 3. 中小企業に対する 支援の充実

#### (1) “伴走型支援”による相談対応

- ① 高度で専門的な経営相談に対し実践的な課題解決を図るため、(株)サイエンス・クリエイト、豊橋信用金庫、日本政策金融公庫豊橋支店、よろず支援拠点、その他関係機関と連携を図り、**経営計画・BCP 策定、経営・販路拡大、IT 活用、税務・財務、創業、事業承継など、各種経営相談に対応**した。
- ② 弁護士や税理士、弁理士、社会保険労務士、IT コーディネーターなどの専門家による**定例専門相談**を延べ70回開催し、66名が利用した。また、実践的に経営課題の解決を図るため、事業所へ79件の**専門家派遣**を行った。
- ③ 経営全般を総合診断する「企業ドック」等を通じて、74件の**経営計画策定を支援**した。
- ④ 国等の中小・小規模事業者向けの**各種補助金の活用・申請に関する相談に対応**し、小規模事業者持続化補助金を中心とする63件の申請支援を行った。
- ⑤ 豊橋市や(株)サイエンス・クリエイト、地元金融機関とともに、「**とよはし創業プラットフォーム**」に参画し、延べ361件の窓口・巡回相談に対応するほか、とよはし創業塾などの支援事業を実施した。また、業界動向に明るい経営者や支援スキルを持った専門家によって組織した「**創業・スタートアップサポーターズ**」を活用した。
- ⑥ IT 導入・デジタル活用を後押しするため、会員事業所から募った22社のITベンダーと連携した相談窓口として**IT導入サポートデスク**を設置し、課題解決事例の紹介や相談対応を実施したほか、実際にデジタルツールに触れる機会として、12社のITベンダーの出席を得て、**展示・相談会及びセミナー**を開催し、37事業所・66名が来場した。
- ⑦ 「**愛知県事業承継・引継ぎ支援センター 豊橋サテライト**」とタイアップし、34事業所からの相談に対応したほか、豊橋市や同センターなどとともに形成した相談支援の地域プラットフォーム「**とよはし事業承継ひろば**」を通じ、親族承継などをテーマとしたセミナーを2回開催した。



デジタルツール展示会  
(R7/7/24)



とよはし創業塾  
(R7/8/21～9/27)

#### (2) 人材育成・確保等の人財サポート事業の推進

- ① 人材の確保と就業機会の創出を目的とする「**とよジョブマッチ**」(無料職業紹介所)は、WEB 広告やデジタルサイネージなどの広報強化を図り、新規求職登録者数は182名となり、年度内の平均有効求人数388名に対し、68件を紹介した結果、20名が採用に至った。
- ② **各種講習・講演会・能力開発セミナー**を25回開催し、591名が参加した。また、インターネット環境を利用し、時間や場所の制約を受けず受講できる「**WEB セミナー**」を配信し、6,189回の視聴利用があった。
- ③ 市内中学2年生を中心とする若者を対象に、企業人が仕事の内容などを語り、地元企業への理解や就職意欲を高める「**ビジネスパーク**」事業を春、秋の2回にわたり、あわせて4日間、市内中学校21校で参加生徒数3,252名に対し、182講座を開催した。
- ④ 「**東三河学生就職情報センター**」を通じ、東三河合同企業研究フェア及び東三河しゅうかつフェア～インターンシップキャリア～を4回実施し、延べ214事業所の参加のもと、168名の学生が参加した。また、**就職活動支援サイト「しゅうかつパーク東三河**」を開設し、採用情報やインターンシップ情報等を通年で発信した。
- ⑤ キャリア教育と企業の認知度向上を図るため、地元大学生と企業が学食で交流する「**モグジョブ**」及びWEB形式による「**オンラインモグジョブ**」を実施し、延べ36社の会員事業所が73名の学生と交流した。
- ⑥ 社会人のキャリアアップやリカレント教育、高齢者・女性等のスキル向上に資するため、「**豊橋商工会議所パソコン教室**」を運営し、204名が、延べ17,996回受講した。



春のビジネスパーク  
(R7/6/3～6/4)



東三河しゅうかつフェア  
(R7/6/14)

- ⑦ 日本商工会議所や東京商工会議所との共催により、簿記や珠算の集合型**検定試験**のほか、リテールマーケティングやビジネス英語」等の**ネット試験**を実施した。



モグジョブ@愛知大学  
(R7/5/28)



地域の絆 情報交換・商談会  
(R8/2/17~18)

#### 【課題認識・状況】

- ▶ 本格的な少子高齢化社会に突入し、慢性的な人材不足に直面。受注制限や営業時間短縮、人件費高騰を招き、全業種的に事業継続が不安視されている。

#### 【今後の取り組み】

- ▶ 新卒採用支援に加え、シニア、女性、外国人などを含む多角的なキャリア人材のマッチング支援を強化する。
- ▶ 労働市場の縮小を前提とした、人材の定着・活躍促進、省人化・生産性向上につながるサポートに努める。

### (3) ビジネスマッチング支援事業の実施

- ① 東三河及び周辺地域の商工会議所・商工会、金融機関などとの連携により、ビジネスマッチング事業として「**地域の絆情報交換・商談会**」（主催：東三河広域経済連合会）を開催し、登録企業 270 社のうち 227 社が参加し、445 件の商談を行った。

### (4) 物価高・コスト増の影響克服に向けた取り組み

- ① 市内経済の消費喚起を目的として、豊橋市が 30%のプレミアムを付与した**電子商品券「TOYOPay」**を 15 万セット販売したことにあわせ、当所は、**商品券の販売促進や利用可能登録店の募集活動**を展開し、利用総額は約 9 億 5,700 万円、登録店舗数は当所会員事業所を含む 1,143 件となった。
- ② 投資や賃上げの原資確保に向けた取引適正化を推進するため、巡回訪問や各種会合、会報誌、セミナー等を通じ**パートナーシップ構築宣言の普及啓発**を図り、年度末における市内事業所の宣言数は 191 件となった。

#### 【課題認識・状況】

- ▶ 長引く円安や不安定な国際情勢を背景に、原材料やエネルギーの高騰と調達制約が広がり、投資や賃上げの原資確保に向けた価格転嫁も進んでいない。

#### 【今後の取り組み】

- ▶ 新事業・新分野進出、デジタル活用、海外展開など、「稼ぐ力」を高める付加価値の創出拡大が不可欠。

### (5) 小規模企業等経営改善普及事業の推進

- ① 市内 9,391 件にのぼる**小規模事業所から寄せられる各種相談等**には、経営指導員 11 名、補助員 3 名により対応した。相談指導件数は 1,632 件（巡回 262 件、窓口 1,370 件）であった。

### (6) マル経融資制度の普及および利用促進

- ① **小規模事業者経営改善資金（通称：マル経）融資制度**については、感染症の影響を受けた事業所向けの別枠融資を含め、融資推薦件数 26 件・融資推薦総額 1 億 8,610 万円であった。
- ② マル経の利用拡大に向け、当所の要望により施策化された「**豊橋市小規模事業者経営改善資金利子補給補助金**」を 34 件申請し、利用者の負担軽減に努めた。

### (7) 経営安定に向けた支援

- ① 地震等災害への備えや被災時における対応策などを学ぶため、NPO 法人東海リスクマネジメント研究会主催、当所共催により**防災フェア**をオンライン形式で開催し、南海トラフ地震臨時情報や風水害発生時の危機管理などをテーマとしたセミナー・講演を配信した。
- ② 「**健康経営**」の取組を促進するため、損害保険会社や協会けんぽ等と共催によりセミナーを開催した。さらに、豊橋市や協会けんぽと結んだ協定に基づき、「**とよはし健康宣言事業所**」の普及促進を図り、202 事業所を認定したほか、優良事業所の認定・表彰を行った。

## 4. 地域産業振興事業

### (1) 中心市街地の活性化と商業振興

- ① (株)豊橋まちなか活性化センターと協力し、共通駐車券事業、まちなかインキュベーション事業、豊橋まちなか未来会議の運営などの**中心市街地の基盤整備やプラットフォーム形成**に関する事業を展開するとともに、まちなかマルシェやまちなか Garden など各種イベントを企画運営し、**賑わい創出事業**に取り組んだ。
- ② **第 38 回都市デザイン文化賞**を大須賀法務合同事務所に贈った。

#### 【課題認識・状況】

- ▶ 新アリーナ事業が、令和 7 年 7 月の住民投票を受けて再開。開業を見据えたアクションプログラムが必要。

#### 【今後の取り組み】

- ▶ 新アリーナを地域創生の起爆剤とするため、「まちづくり委員会」を新設し、中心市街地の再生、商業・サービス業振興策を検討する。

## (2) ものづくり振興と新産業創出支援

- ① 東三河の商工会議所・商工会と(株)サイエンス・クワイエット、豊橋技術科学大学や愛知工科大学により組織する「東三河産業創出協議会」において顕彰事業「東三河ものづくり大賞 2025」を実施し、SoundKOBÉ、(株)アーキ HILO、(株)OptTech に贈った。
- ② 地域内の産・学・官・金の連携をより活発化させて新事業創出を目指すため「東三河産学官金連携形成委員会」にて、配置した4名のものづくり技術支援コーディネーターが36事業所を訪問した結果、企業連携支援・4件を実施した。
- ③ 翌年度の「ものづくり博 2026in 東三河」(主催：東三河広域経済連合会)の開催に向けて、東三河産業創出協議会に設置した、ものづくり博企画委員会を通じて準備・検討を行った。
- ④ 開学 50 周年を迎える豊橋技術科学大学の産学連携・社会連携等に関する記念事業に賛同し、当所参加団体である豊橋技術科学大学協力会とともに寄附による協力を行った。

## (3) 観光コンベンション事業

- ① 第 69 回ええじゃないか豊橋まつりの一環として、行政や産業界を中心とした関係者の一体感醸成を図るため、まちなか広場で前夜祭を開催した。イベント当日は、「まちじゅうええじゃないか」事業を運営するとともに、TOYOHASHI BIG PARADE を企画し、商工会議所チームとして参加した。
- ② 手筒花火をメインコンテンツにした誘客イベントとして「第 30 回炎の祭典」をかもめ広場少年サッカー場で開催した。140 本の手筒花火や綱火、大筒、打上花火などを、関東・関西方面からの旅行客を中心とした 3,415 名に披露した。
- ③ コンテンツ・ツーリズムによる地域活性化を推進するため、シャイニングヒロイン実行委員会が運営する「TV アニメ『負けヒロインが多すぎる!』豊橋まちあるきスタンプ」事業に炎の祭典実行委員会と連名で参画し、ご当地スタンプ設置や缶バッジ販売を実施した。



ええじゃないか豊橋まつり  
(R7/10/17~18)



炎の祭典  
(R7/11/1)

# 5. 地域基盤整備事業

## (1) 三河港の整備と利用促進

- ① 三河港振興会などと連携し、国、県等に対し、臨港道路東三河臨海線をはじめとする物流インフラの整備促進を求めるほか、地元意見を踏まえた港湾計画改訂の推進などについて積極的な要望・提言活動を行った。
- ② 一般市民が港に親しみ、港湾施設整備等の理解を深めるため、カモメア一帯で「豊橋みなとフェスティバル 2025」を開催し、約 20,000 人の来場者で賑わった。



三河港整備促進要望  
(R7/5/12)



豊橋みなとフェスティバル  
(R7/7/21)

## (2) 広域交通ネットワークの整備促進

- ① 東三河地域や三遠南信地域の自治体、商工会議所・商工会、農業団体などと連携し、三遠南信自動車道、浜松湖西豊橋道路、東三河縦貫道、名浜道路、三河港へのアクセス道路等の整備促進について要望活動を展開した。

### 【トピックス】広域幹線道路の整備進展

- ▶ 三遠南信自動車道・・・鳳来峡 IC - 東栄 IC 間が、令和 8 年 3 月に完成し、県内全区間が供用開始。奥三河から浜松いなさ JCT へのアクセス性・定時性が飛躍的に向上した。
- ▶ 浜松湖西豊橋道路・・・令和 7 年 11 月に豊橋市、湖西市、浜松市が開いた都市計画素案説明会で、ルートや構造が公表された。事業化に向けたステップが進展している。

## (3) 水資源の確保

- ① 設楽ダム建設及び水源地域の振興等について、東三河の経済界が一体となって国土交通省及び愛知県へ要望した。

## (4) 環境問題への対応

- ① 第 14 回環境経営賞は、最優秀賞を花王(株)豊橋工場、優秀賞を加山興業(株)、奨励賞を(株)イズミック、三栄低温工業(株)に贈った。
- ② 2050 年カーボンニュートラルを見据え、地元企業の実践事例から学ぶ豊橋市が主催する脱炭素セミナーに共催するなど、脱炭素経営へのシフトを後押しした。

## (5) 広域経済圏における連携

- ① **東三河広域経済連合会**は、社会基盤整備やものづくり振興、広域観光などの広域的諸課題について協議検討するとともに、「健康な地域社会創造」、「産業と地域を支える人材育成」などの重点プロジェクトを推進したほか、関係自治体や大学等の参加を得て、「**東三河経済フォーラム 2026**」を開催し、連合会として取り組むべき課題・テーマを共有するとともに連携の深化を図った。
- ② 「**東三河スタートアップ推進協議会**」を通じ、地元自治体や(株)サイエンス・クリエイト、豊橋技術科学大学などと連携し、**地域発のスタートアップ創出**に向けた機運醸成イベントを開催したほか、東三河の商工会議所・商工会、信用金庫等の職員を対象とした勉強会を開催し、スタートアップ支援に関する課題共有や解決策検討を進め、各組織における支援体制強化に努めた。
- ③ 地域企業の DX 推進と地域のデジタル化の加速を目的に、地元金融機関や第 3 セクター企業とともに発起人となり、「**一般社団法人東三河デジタル推進協会**」を設立し、支援体制の構築や組織基盤の確立を図った。
- ④ 愛知県東三河県庁や東三河 8 市町村などとともに「**東三河ビジョン協議会**」に参画し、「**東三河振興ビジョン 2030**」の推進にあたり、重点プロジェクトとして立ち上げられた「**東三河森林ルネッサンスプロジェクト**」を中心に展開した。
- ⑤ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議の主催による「**三遠南信サミット 2025 in 南信州**」が、「人口減少時代の広域連携～持続的に成長する地域の創生～」をテーマに開催され、分科会での討議などを踏まえ、各種インフラの維持・管理に向けた連携、稼ぐ力の創出による成長モデルへの転換、広域周遊観光の推進などに重点を置き、取り組みを推進する旨の宣言文を採択した。
- ⑥ 三遠南信地域の 10 商工会議所・43 商工会で組織する「**三遠南信地域経済開発協議会**」は、三遠南信地域の知名度向上に向けたプロモーション動画を制作し、WEB 上に公開したほか、財務省、国土交通省への整備促進要望を行った。



三遠南信サミット in 南信州  
(R7/10/6)



東三河経済フォーラム  
(R8/2/5)



青年部 NEXT AI  
Innovation (R7/11/7)



浜松商工会議所女性会  
との交流会 (R7/9/17)

## 6. 議員総会・常議員会・ 部会・委員会等

### (1) 議員総会・常議員会など

- ① **議員総会、常議員会、議員昼食会**などを定例的に開催し、情報の伝達と意見の集約及び交換等を活発に行なった。
- ② 部会事業の活発化や業種業界の意見集約等を図るため、正副会頭と部会長による**部会長懇談会**を開催した。
- ③ **第 25 期議員改選**を行い、正副会頭、監事、常議員、議員など 145 名を選任し、11 月より新体制をスタートさせた。改選にあわせ定款変更を行い、円滑な組織運営や事業推進の体制充実を図るため、副会頭を 5 名体制とした。

### (2) 部会・委員会等

- ① **全 17 部会**が部会毎の事業計画に基づいて、各種講演会や視察会、行政との意見交換など、活発な部会活動を推進した。
- ② 第 24 期に設置した、ええじゃないか推進委員会、ビジネスパーク委員会、会員サービス委員会において、それぞれのテーマに基づき事業推進や検討研究を行った。
- ③ **青年部**は、ええじゃないか、協働、交流、拡大、研鑽、創造、広報渉外、国際の各委員会により、多岐にわたる事業を実施するとともに、日本 YEG や東海ブロック、県連の各種事業への参画や他単会との連携・交流に努めた。また、令和 8 年度に迎える**創立 35 周年**に向けて、35 周年準備室を設置し、記念事業の検討・準備に入った。
- ④ **女性会**は、「絆」をテーマに、役員及び 3 委員会（地域創生・ステップアップ・会員交流）が中心となり、講演会・セミナー等の例会を開催した。また、全国商工会議所女性会連合会全国大会や愛知県商工会議所女性会連合会総会、三河商工会議所女性会サミットなどに参加したほか、浜松商工会議所女性会との交流会を実施し、積極的な交流を図った。